

住宅購入に最大１００万円の補助が検討されています。

１１月９日、２０２３年度国土交通省分の補正予算案が判明しました。以下、高知新聞の記事を引用します。

２０２３年度補正予算案の国土交通省分が９日判明した。省エネ性能や耐久性が高い住宅を購入する子育て世帯などに、最大１００万円を補助する事業に２１００億円を計上。物流の「２４年問題」への対応として再配達削減に向けたポイント付与事業も盛り込み、総額は２兆円規模とする。

住宅購入補助の対象は１８歳未満の子どもがいるか、夫婦のいずれかが３９歳以下の世帯。省エネ性能が高い場合は８０万円、耐久力も兼ね備えた長期優良住宅の場合は１００万円を補助する。

省エネ住宅購入への補助は９月に予算切れで終了したが、物価高騰などを考慮して続ける。外壁の断熱化などリフォーム費用も一部補助する。

【２０２４年問題とは】

２０２４年４月１日以降、トラックドライバーの時間外労働時間の上限が制限されることにより、物流に影響が出ることを指す。

補正予算案が閣議決定されると、補助の対象となる不動産を購入しやすくなります。特に、若い世代や子育て世代の購買意欲が高まると予想されます。あなぶき不動産流通では、中古マンション・住宅だけでなく、新築マンション・住宅の紹介もしております。心のこもったご提案をさせていただきますので、不動産のご売却・ご購入に関することはあなぶき不動産流通にご相談ください。

【出典】

『住宅購入に最大１００万円補助 子育て支援、補正予算案』、高知新聞社（共同通信）、
２０２３年１１月１１日最終閲覧

『“荷物の３割が届かない“衝撃の予測は現実になるのか？』、NHK、２０２３年１１月
１１日最終閲覧